

現象数理研究 II

桂田 祐史

katurada@meiji.ac.jp

<http://nalab.mind.meiji.ac.jp/2026/>

2026 年 9 月 21 日

1 時間割の決定 (全員揃ったら)

2 連絡手段の確保

メールまたは LINE で連絡する。できれば LINE でグループを作りたい。LINE で連絡を取るのも構わないという人は、次の QR コードで桂田に連絡下さい。LINE 使わない人は、Meiji Mail をチェックすること。



3 ゼミの内容の説明

現象数理研究 II~IV の目標は、現象数理学または数学に関係するテーマで卒業研究をして、レポートを書くこと (レポート提出 2028/1, 発表会 2028/2 上旬)。

過去の卒業研究レポートのテーマは

<https://nalab.mind.meiji.ac.jp/report-titles/>

で見られる (パスワードかけてある)。

今学期の目標: 自分の卒業研究のテーマを決める。決まったらその研究を始める。

自分のテーマが決まるまでは、以下を行う。

1. テキスト輪講: 皆で一つのテキストの輪講¹を行う。
候補は千葉「解くための微分方程式と力学系理論」、神永「Python と実例で学ぶ微分方程式」、ファロー「偏微分方程式」(「発展系の数値解析」という差分法の解説文書 (桂田著) も提供する)
2. コンピューター実習: 微分方程式の数値計算, Mathematica, $\text{\LaTeX}$

4 面接

(0) 研究したいこと、学びたいこと (研究と勉強はちょっと違う)。(1) 好きなもの、得意なこと、苦手なこと。(2) ずばり取得単位数, 必修科目で落としたものがあるか? (3) 進路。

¹輪講については「輪講のやり方 (数学科の場合)」(<https://nalab.mind.meiji.ac.jp/howto/rinkou/rinkou.html>)を参考にして下さい。